

# WALL 01 RACK

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守り下さい。

## ⚠ 置き方

### ⊘ 固定用金具や固定部材でしっかり固定してください。

地震などでラックが倒れ、ケガをする事があるので、お部屋の壁に市販の固定用金具や固定部材でしっかり固定してください。また、ラックの上に物を置く際には、置き方にご注意ください。落ちてケガをしたり、床面のキズや破損の原因となる事があります。

### ⊘ 直射日光や熱・冷暖房器の強風などが直接あたらない様にして下さい。

ラックが変形・変色、又火災の原因となる事があります。

### ⊘ ラックは床面の平らな場所に水平になるように置いて下さい。

ガタツキがあるまま使っていると棚板等の変形やゆがみの発生や、壊れたりケガの原因となる事があります。

### ⊘ 敷物などを敷いて使用して下さい。

床面がフローリング・クッションフロア・畳などの場合は、敷物などを敷いて使用して下さい。床面のキズ防止になります。

## ⚠ 保守・点検

### ⊘ ネジがゆるみ始めていたら、しっかりと締め直して下さい。

ネジはゆるみやガタツキがないか時々点検し、ゆるみはじめていたらしっかりと締め直して下さい。ゆがみの発生や、壊れたりケガの原因となる事があります。

### ⊘ 修理及び改造はしないで下さい。

製品の強度を弱めケガをする事があります。

## ⚠ 耐荷重について

### ⊘ 天板及び棚板の耐荷重はそれぞれ5kgです。

上方だけにモノを乗せると、重心が上になり、安定性がなくなります。なるべく下の方の棚板にモノを載せて、バランスを取って下さい。また、ラック全体に載せるモノの荷重は安全を考えて、20kgまでとして下さい。

## ⚠ 使用上の注意

### ⊘ 熱いものや濡れたものを長時間置いたり、ビニール等で覆って使用しないでください。

ラックに直接熱いものや濡れたものを長時間置いたり、ビニール等で覆って使用しないでください。塗料が変色したり、塗装がはがれたり、錆る事があります。

### ⊘ ラックの上に立ったり飛んだりしないで下さい。

踏み台の変わりに使ったり腰掛けたり等もしないでください。転倒しケガや破損の恐れがあります。

### ⊘ ぶら下がったり、無理な力で引っ張ったりしないでください。

ラックにぶら下がったり、無理な力で引っ張る等しますと、転倒しケガや破損の恐れがあります。

### ⊘ 天板、棚等の上に灰皿や食器等、底のザラついたモノを直接置いて引きずったりすると傷つく事がありますのでご注意ください。

## ⚠ 手入れ方法

### ⊘ 塗装面のホコリは、通常柔らかい布の乾拭きだけで十分です。

塗装面のホコリは、柔らかい布又はハタキで軽く払ってください。硬い布でホコリの上から強くこすると細かなキズがついてかえって逆効果になります。通常は柔らかい布の乾拭きだけで十分です。汚れのひどい時は、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後水で浸した布で洗剤分をよく拭き取ってください。次に乾いた布で軽く拭いた後、自然乾燥させてください。

### ⊘ 化学ぞうきんを長い間接触させたままにしておくと、変色や表面がはげたりする事がありますのでご注意ください。

## ⚠ 移動

### ⊘ 棚上のモノは一度すべて下ろしてから移動を行ってください。

ラックを移動する時は、棚板の上のモノを落としたり倒したりして、ものを壊したりケガをする事がないように、なるべく棚の上のモノは一度すべて下ろしてから移動を行ってください。移動の際は、必ずジョイント部分より下を両手でしっかり持って運んでください。ジョイント部分から下が外れて、脚のうえに落ちてケガをしたり、床にキズを付けるなどの原因となります。

# Joint 組立方法

※組み立てを行う際には、プラスドライバーをご準備下さい。

組み立ては、床に寝かせた状態で行なって下さい。硬い床の上で行なうと、床を傷つけたり、本体の塗料が剥がれる原因になりますので、柔らかい布またはカーペットの上で作業を行なって下さい。

**1**

①まずラックの上半分にあたる部分を組み立てます。床に寝かせた状態で、天板上支柱(左右)を仮留めします。(キャップを外さずそのまま組み立ててください)  
※上支柱の上部は、溶接部分を隠すため、外側が少し長く、左右非対象になっています。左右の取付にはご注意ください。

ネジは仮留めで締めて下さい

**2**

棚板3枚を仮留めしていきます。拡大図のように、ネジを仮留めして下さい。

ネジは仮留めで締めて下さい

※支柱には、棚板を固定する穴が5cm幅で2穴づつ空けられています。棚板を等間隔で固定する場合には2穴の上の穴に棚板を固定して下さい。(下部分も同様)

(左図)この状態で上半分は完成ですが、下半分を組み立てジョイントするまでは、ネジは仮留めにしておきます。

**3**

①ラックの下半分を組み立てます。棚板2枚と底板1枚を、下支柱に仮留めしていきます。一番下板には、2つネジ穴がある底板をご使用下さい。

※下支柱は手前に弓なりに彎曲していますので、方向にご注意下さい。

ネジは仮留めで締めて下さい

②下支柱(右)へも、棚板と底板を仮留めして下さい。

ネジは仮留めで締めて下さい

**4**

仮留めした上半分を下半分に差し込みます(ジョイント作業)。  
※接続部にネジ留めは必要ありません。

ジョイント後ネジを本留めして下さい

キズ防止クッション

移動の際は、必ずジョイント部分より下を両手でしっかり持って運んでください。

30cm

立て掛ける時は、カベから30cm離して下さい。  
※本紙側面のメジャーをご利用下さい。揺れやズレの防止にキズ防止クッションを天板の壁にあたる部分に取り付けて下さい。